熊本学園大学付属社会福祉研究所　社会福祉叢書 28

人口減少社会のコミュニティ・プラクティス

実践から課題解決の方策を探る

仁科 伸子　著

2019 年 3 月 20 日発行

はじめに：社会福祉学としてのコミュニティ・プラクティス研究の課題と目的

第Ⅰ部　コミュニティ・プラクティスの解題
　1章　コミュニティ・プラクティス発展の経緯
　　1.1　アメリカの経済的発展とコミュニティ・プラクティスの系譜
　　1.2　地域間格差とコミュニティ・プラクティスのはじまり
　　1.3　コミュニティ間格差の拡大
　　1.4　コミュニティへの期待とディレンマ
　2章　コミュニティ・プラクティスの理論的系譜
　3章　エンパワメントとコミュニティ・プラクティス
　　3.1　エンパワメントの意味とソーシャルワーク
　　3.2　エンパワメントの理論的背景と構造分析
　4章　アリンスキーのコミュニティ・オーガナイジング
　　4.1　コミュニティ・オーガニゼーションの父アリンスキー
　　4.2　これまでのアリンスキー研究
　　4.3　アリンスキー戦略とは何か
第Ⅱ部　3つのコミュニティ・エリアのプラクティスから
　5章　人口減少、地域の荒廃と闘うイングルウッド
　　5.1　貧困線以下の世帯が約半数のイングルウッド
　　5.2　人口減少の現実　歴史ある町から荒廃へ
　　5.3　住民が語る 63 通りの思い出
　　5.4　イングルウッド荒廃の時期と要因
　　5.5　イングルウッドの人口減少と荒廃を引き起こした複合的な要因
　　5.6　イングルウッド再生の主体、チームワーク・イングルウッドと
　　　そのネットワーク
　　5.7　シカゴ市とのパートナーシップで展開する大規模空地の 1 ドル譲渡

5.8　都市内の畑で職業訓練をするグロウイング・ホーム
5.9　1ドルで買った土地で非営利組織が遊び場作り
5.10　イングルウッド警察との連携による地域安全のための取り組み
5.11　非営利組織が空き店舗を使ったクサンヤ・カフェをオープン
5.12　イングルウッド再生の特性　パートナーシップと触媒型コミュニティ・オーガニゼーション
6章　住民のエンパワメントから見たコミュニティ・オーガナイジング
――レッドライニング反対運動からペアレント・メンターまで――
6.1　ローガンスクエアの町
6.2　ローガンスクエア・ネイバーフッド・アソシエーションの取り組み
6.3　ペアレント・メンター事業
6.4　ローガンスクエアで注目すること
6.5　ペアレント・メンターの経緯を語る
6.6　ペアレント・メンターの語りから見たエンパワメントへの過程
6.7　ディスエンパワメントからエンパワメントへの過程
7章　コミュニティ・オーガナイジングの変質
――不買運動からアフォーダブル住宅供給へ、そしてガーデンコミュニティへ：ウッドローンの変遷――
7.1　ウッドローンの町
7.2　ウッドローンにおけるコミュニティ・オーガニゼーション
7.3　ウッドローン・コミュニティに見るコミュニティ・オーガニゼーションの変質と主体形成
8章　コープ方式による地域再生
9章　人口減少時代のコミュニティ・プラクティスの可能性
9.1　3つの事例から見た考察
9.2　ポスト福祉国家とコミュニティ・プラクティス

謝　辞

引用文献リスト